

リチウムイオン電池の 分別排出の徹底について

令和5年4月26日（水）



SDGs 未来都市



埼玉県



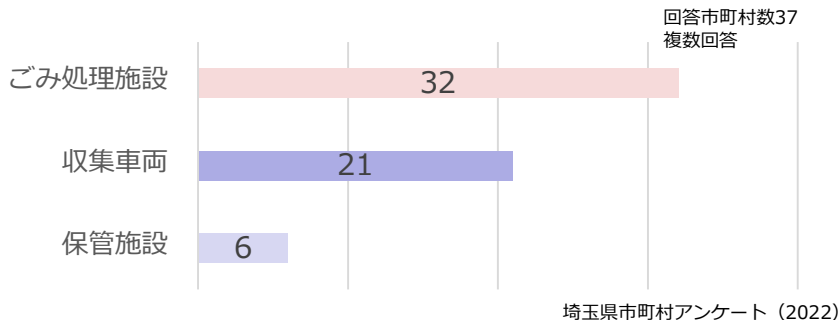
ごみ処理施設等でのリチウムイオン電池を起因とする火災の発生状況

埼玉県内市町村の火災発生状況

63市町村のうち37市町村で発生（60%）

埼玉県市町村アンケート（2022）

県内市町村の火災等発生場所



火災発生例

粗大ごみを破碎した後、分別した金属を搬送する設備から出火し、金属ごみの処理が長期間停止



出火したベルトコンベア

上尾市西貝塚環境センターにおける出火（令和2年10月13日）

分別収集の徹底が重要

分別収集の課題及び埼玉県の取組

分別収集の課題

○ 消費者側が分別する際の問題

- ・電池の表示のないものや電池が容易に取外しできない製品がある
- ・自主回収をしていない製品（海外製品等）がある
- ・地域によっては回収を受け付けている家電量販店等が近くにない



○ 市町村側の課題

- ・分別排出について周知しているが消費者に十分徹底されていない
- ・市町村では電池や電池内蔵製品の処分ができない
- ・消費者からの小型家電の廃棄量（R2年過去最多）は今後も増加が見込まれ、電池の保管に苦慮

市町村ごとの対応では限界

埼玉県の取組

○ 県民への啓発

- ・電池の種類に応じた回収方法について、県ホームページや広報誌、県公式SNSで周知
- ・リチウムイオン電池の適正な廃棄方法に係る動画を作成し市町村に提供
- ・県公式YouTubeチャンネルで啓発動画を公開



県広報誌掲載例



啓発動画例

○ 市町村との処理検討会の開催（令和4年度3回開催）

- ・県内ごみ処理施設における火災事故の発生状況等を周知
- ・収集後の適正な保管方法や処理方法について情報共有

九都県市に対する提案内容等

提案内容

それぞれの取組の状況や課題を共有するとともに、共同して消費者に対する啓発を行う

九都県市での取組案

1 九都県市における取組の状況及び課題の共有

- ・ 検討会の開催、好事例の横展開

2 消費者に対する啓発の実施

- ・ 環境イベント(エコプロ2023等)への出展、チラシの作成、WEB広告



県政PR出展ブースの様子